

辻 史子（つじ ふみこ）
公明党田原市議団

動画へGO

手話リンクの導入について市の見解は

導入について研究していく

「手話リンク」について

問 **手話リンクは聴覚や発話に障害のある方々には有効なサービスである。運用面において市の実情に合ったルール作りはどのようなことが考えられるか。**

答 受付日時の設定と電話対応窓口の整理、職員が適切に対応できるマニュアルの整備等を含めたルール作りが必要である。

問 **愛知県内でも導入する自治体が増えている。本市において手話リンクの導入について見解は。**

答 先行導入した自治体の運用状況を調査し、導入について研究していく。

頼れる身寄りがいない高齢者等への支援について

問 **頼れる身寄りがいない高齢者等の生活を支援する仕組みを第2種社会福祉事業の中に追加する改正法が、令和8年6月に成立した。日常生活の見守りや金銭管理、各種手続き、死後の葬儀などのサポートを一定の利用料で受けられるものだが、法改正を受け本市の対応は。**

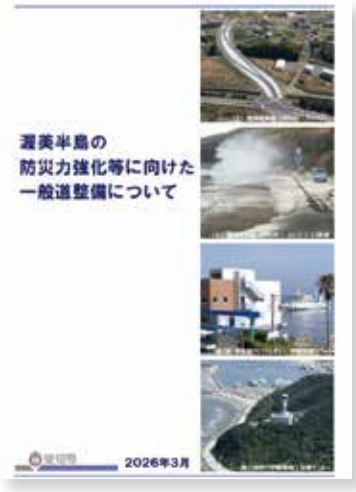
答 今後、国において示される予定の基本方針やガイドライン等の内容を精査し、その上で、本市の実情に応じた重層的な支援体制の構築に向けた検討を進めていく。

高齢者の肺炎球菌感染症予防接種の推進について

問 **令和6年度から対象者が65歳に限定され、令和8年度からは23価肺炎球菌多糖体ワクチンから20価肺炎球菌結合型ワクチンとなり、自己負担額も増額した。制度変更が接種率に影響を与えていないか懸念されるが、本市の取り組みは。**

答 対象者への丁寧な情報提供を行うとともに、予防接種の動向に注視しながら、引き続き予防接種の推進に取り組んでいく。





環境の変化や安全上の課題を把握し、協議していく。また、現道の安全対策の取り組みとしては、防災機能の強化だけでなく現道活用区間の交通環境の変化にも適切に対応する必要がある。このため、県と連携し、必要な安全対策をあらかじめ検討するとともに、バイパス整備計画と一体的に計画し、防災機能と日常の安全・安心が両立する道路整備に向け取り組んでいく。